

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	労働セミナー事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	③〈新しい芽〉リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'03	3 就業の場における処遇の公正化及び男女雇用機会の均等化並びに雇用の安定拡大を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	勤労者、事業主、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働：】		
目的・目標		事業の概要	
勤労者の労働や就労に関する問題、社会経済に対する理解や認識が高まっています。		勤労者の労働問題や社会経済に関する知識と教養を高めるため、講演会などを実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	講演会等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	4			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	講演会等参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	160	160	160	160		
	実績	167	142	175			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
労働基準法を中心に、ワークライフバランスや裁判事例等、時節の労働問題に関する講座を5日間開催し、労働者の他、事業主や労務管理担当者、市民の知識を高めました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	労働や就労に関する問題や社会経済に対する理解や知識を高めることは、不当解雇や違法就労の防止、仕事と家庭の両立など労働者の権利を守ることにつながり、必要性が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	労働法や育児・介護休暇制度など知識や認識が乏しい事業主も少なくない状況にあり、知識や理解を高めるために労働講座などによる講義は有効性が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	勤労者や市民だけを対象とした労働講座ではなく、事業主や人事担当者も対象としていることから、妥当性は高いです。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	労働講座は、主に大学の教授や社会保険労務士など専門知識を有する者を講師として招いている上、配布資料も提供されているため、事務的な負担が軽減され、効率的です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		不当解雇や違法就労などの労働問題、派遣労働や仕事と家庭の両立などの働き方の問題、労働法令の改正など労働を取り巻く環境は大きく変化しており、今後も社会のニーズや時節にあったテーマを的確に捉えて事業を進めていくことが重要です。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		講演会などの開催	講演会等の開催	講演会等の開催	講演会等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	326	136	136	136
事業費 (A)		326	136	136	136
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.24	0.23	0.23	0.23
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,006	1,900	1,864	1,844
フルコスト (A+B)		2,332	2,036	2,000	1,980

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	不当解雇や違法就労など、これまで社会問題となっている内容だけでなく、仕事と家庭の両立や短時間労働、非正規雇用の問題など働き方の多様化が進む中で、社会情勢の変化やニーズに対応した事業内容の充実を図ります。
課長コメント	労働関係法令の改正等が頻繁に行われるなど雇用環境が変化していることから、事業主や人事担当者、勤労者等の知識と理解を深めることは重要であり、今後も事業を継続していく必要があります。